

【佐々町】

1. 背景・目的

- 町としてPPP/PFIの実績がなく、また、庁内にPPP/PFIの専任部署や担当者が配置されていないことから、職員のノウハウ蓄積や実施事例などの情報不足が課題であった。
- 住民理解を深めると共に、具体的なスキームや施設機能等をより具体化するためマーケットサウンディングを行うことを目的とした。

2. 事業概要

- 平成31年度以降の案件形成に向けた、個別対話と民間事業者からのより幅広い知見を事業に反映させるためのマーケットサウンディングを実施。
- 庁内職員へ向けた、PPP/PFIの勉強会を実施。

3. 地域協議会の取組概要

- 平成29年度
 - PPP/PFI事業のノウハウの習得を行うとともに、官民の繋がりが地域住民を踏まえた事業理解を深めるため、佐々川流域再生会議や各部会を通じて理解を深めた。

	佐々川流域再生会議
出席者	<ul style="list-style-type: none">• 佐々川流域再生会議メンバー 12名• (有識者3名、地元住民・団体5名、金融機関2名、民間事業者2名)• 副町長、関係課職員4名• 長崎県職員1名
内容	<ul style="list-style-type: none">• 事業概要の説明• 地域プラットフォームの説明• 自己紹介、意見交換
成果	<ul style="list-style-type: none">• 事業案件の理解浸透

- 平成30年度
 - 過年度のスケジュールでは、平成30年度は拠点整備に係る検討、実施方針の策定、マーケットサウンディングを実施することを想定していた。整備計画の進捗状況を踏まえ、平成30年度の活動計画を検討した結果、民間事業者への個別ヒアリングとマーケットサウンディングによる民間事業者のアイデア把握を実施することとした。

	個別ヒアリング	マーケットサウンディング(オープン型)
出席者	<ul style="list-style-type: none">• 地元有力企業	<ul style="list-style-type: none">• 民間事業者2社• 金融機関2行
内容	<ul style="list-style-type: none">• 事業範囲の意見交換• 想定される事業スキームの意見交換• 民間収益施設の可能性についての意見交換	<ul style="list-style-type: none">• 個別事業説明と質疑応答
成果	<ul style="list-style-type: none">• 個別事業に対する意見の聴取	<ul style="list-style-type: none">• 個別事業の検討の深化• 事業化に向けた検討課題の抽出

4. 取組成果と課題等

- 平成29年度
 - 地域住民や有識者、地元金融、地元企業を中心に構成された佐々川流域再生会議を開催し、事業概要の説明や官民連携で取組む必要性の共有を行った。また、部会を開催することにより施設機能の検討や、住民が必要としている機能などの集約を行った。
- 平成30年度
 - より具体的に事業化へ向けた検討を進めるため、民間事業者への個別ヒアリングとオープン形式でのマーケットサウンディングを実施し、次年度以降の検討課題の抽出を行うこととした。

5. 今後の活動計画

平成31年度

目的:拠点整備に関する基本構想および基本計画の策定

これまでPPP/PFI手法での実施可能性について検討を進めてきたが、現状、活動拠点の整備についての庁内・町民のコンセンサスを得られていない。このため、整備を進めていくためには、拠点整備に係る基本構想および基本計画の策定が必要である。策定の際には、以下の点に留意する必要がある。

- ブロックプラットフォームのサウンディングにおける民間事業者からの意見を踏まえ、施設の必要機能を選定する。
- サンビレッジさざ内のスポーツ施設と一体化した事業とすることについては検討を行う。
- 民間収益施設については、生態系を考慮して併存の可否を検討する。